



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月13日

上場会社名 株式会社 岡本工作機械製作所
 コード番号 6125 URL <http://www.okamoto.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 石井 常路
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 高橋 正弥

TEL 027-385-5800

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	11,845	43.2	427	—	247	—	141	—
26年3月期第2四半期	8,274	△5.0	△758	—	△852	—	△982	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 525百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △871百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	3.18	—
26年3月期第2四半期	△22.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	27,533	8,027	29.2	181.15
26年3月期	26,080	7,653	29.3	172.66

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 8,027百万円 26年3月期 7,653百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

27年3月期の1株当たり配当予想額は、現時点では未定であります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	15.5	1,200	—	900	—	700	—	15.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	47,178,956 株	26年3月期	47,178,956 株
27年3月期2Q	2,862,393 株	26年3月期	2,851,898 株
27年3月期2Q	44,322,007 株	26年3月期2Q	44,345,773 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 27年3月期の配当予想につきましては、今後の業績動向等を見極めつつ検討したいと考えており、現時点では未定であります。予想額の開示が可能になった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な国内需要や輸出の増加による企業収益の改善を背景として、設備投資が緩やかに上向くなど回復傾向で推移いたしました。また海外において、米国経済は景気回復が継続しており、欧州では国ごとにばらつきはあったものの、全体では回復基調となりました。一方、中国や新興国において景気は減速気味に推移しております。底入れの兆しも出てはまいりましたが、先行きにはまだ不透明感がただよう状況となっております。

このような状況の中で、当社グループは、新たな市場の開拓、コスト競争力の強化などに注力し、グループの総合力を駆使して、業績の向上に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は前年同期比43.2%増の11,845百万円となり、経常利益は247百万円（前年同期は経常損失 852百万円）、四半期純利益は141百万円（前年同期は四半期純損失 982百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して1,453百万円増加し、27,533百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が698百万円減少した一方で、現金及び預金が1,243百万円、棚卸資産が690百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末と比較して1,078百万円増加し、19,505百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が206百万円、短期借入金と長期借入金が合計で615百万円増加したことによるものであります。

また、純資産は、前連結会計年度末と比較して374百万円増加し、8,027百万円となりました。主な要因は、円安に伴い為替換算調整勘定が348百万円増加したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の29.3%から29.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して1,260百万円増加し、3,876百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1,152百万円（前年同期は687百万円の獲得）となりました。これは主に、売上債権の減少787百万円、仕入債務の増加159百万円により資金が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、397百万円（前年同期は165百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出437百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、345百万円（前年同期は449百万円の獲得）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1,672百万円により資金が減少した一方で、長期借入れによる収入2,100百万円により資金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、平成26年5月15日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が139百万円増加し、利益剰余金が139百万円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,143	4,387
受取手形及び売掛金	6,557	5,858
商品及び製品	1,605	1,853
仕掛品	2,527	2,755
原材料及び貯蔵品	2,474	2,689
その他	452	572
貸倒引当金	△127	△132
流動資産合計	16,633	17,984
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,903	3,893
機械装置及び運搬具(純額)	2,439	2,617
その他(純額)	2,289	2,342
有形固定資産合計	8,633	8,853
無形固定資産	168	157
投資その他の資産		
投資有価証券	231	133
その他	434	426
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	644	538
固定資産合計	9,447	9,549
資産合計	26,080	27,533
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,580	2,787
短期借入金	6,970	7,071
1年内返済予定の長期借入金	2,998	2,789
未払法人税等	70	127
賞与引当金	171	265
その他	1,234	1,216
流動負債合計	14,025	14,257
固定負債		
社債	100	100
長期借入金	3,117	3,840
退職給付に係る負債	901	994
資産除去債務	81	82
その他	200	230
固定負債合計	4,401	5,248
負債合計	18,427	19,505

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,880	4,880
利益剰余金	4,900	4,891
自己株式	△1,347	△1,349
株主資本合計	8,433	8,422
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	19
為替換算調整勘定	△785	△437
退職給付に係る調整累計額	△2	22
その他の包括利益累計額合計	△779	△394
純資産合計	7,653	8,027
負債純資産合計	26,080	27,533

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	8,274	11,845
売上原価	6,512	8,570
売上総利益	1,762	3,275
販売費及び一般管理費	2,520	2,847
営業利益又は営業損失(△)	△758	427
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	0	1
物品売却益	10	13
為替差益	64	—
その他	34	23
営業外収益合計	112	38
営業外費用		
支払利息	170	162
為替差損	—	15
その他	35	41
営業外費用合計	206	219
経常利益又は経常損失(△)	△852	247
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△852	247
法人税等	129	106
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△982	141
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△982	141

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△982	141
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	10
為替換算調整勘定	108	348
退職給付に係る調整額	—	25
その他の包括利益合計	110	384
四半期包括利益	△871	525
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△871	525

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△852	247
減価償却費	600	574
賞与引当金の増減額(△は減少)	87	89
受取利息及び受取配当金	△2	△2
支払利息	170	162
為替差損益(△は益)	△89	△3
売上債権の増減額(△は増加)	1,516	787
たな卸資産の増減額(△は増加)	△399	△488
その他の資産の増減額(△は増加)	△45	△53
仕入債務の増減額(△は減少)	△180	159
その他の負債の増減額(△は減少)	118	△80
その他	△0	3
小計	923	1,395
利息及び配当金の受取額	3	2
利息の支払額	△164	△161
法人税等の支払額	△101	△133
法人税等の還付額	27	50
営業活動によるキャッシュ・フロー	687	1,152
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△202	△199
定期預金の払戻による収入	216	216
有形固定資産の取得による支出	△259	△437
保険積立金の解約による収入	99	35
その他	△18	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△165	△397
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	114	21
長期借入れによる収入	1,558	2,100
長期借入金の返済による支出	△1,157	△1,672
手数料の支払による支出	△2	△47
リース債務の返済による支出	△61	△55
その他	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	449	345
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	71
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	984	1,171
現金及び現金同等物の期首残高	2,524	2,615
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	112	—
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	88
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,621	3,876

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。